

令和7年11月27日

報道関係 各位

ひたちなか海浜鉄道株式会社

令和7年度上期（4～9月）決算についてお知らせします。

今期は、輸送人員、営業収入ともに昨年度より減少したものの、営業収入においては、昨年度に続き上期1億円超えとなりました。今後は、来年度からの鉄道事業再構築事業の実施を見据えて、湊線の延伸事業の推進や利用者利便性の向上を図り、利用者数の増加や収支の改善を目指していきます。

■輸送人員 61万3,478人

（対前年比2.3%の減、令和元年比5.7%の増）

■営業収益 1億3,218万円

（対前年比1.5%の減、令和元年比9.9%の減）

1 概要

（輸送人員）

上期の輸送人員については、通勤定期は、9万6,014人で、前年に比べ5,920人、6.6%の増となり、また、通学定期については、28万6,740人となり、前年に比べ1万0,500人、3.5%の減となりました。一方、定期外旅客は、前年に比べ9,697人、4.0%減の23万0,724人の利用があり、令和元年度と比較すると86.9%の水準となりました。

この結果、定期、定期外を合わせた上期の輸送人員は、61万3,478人で、前年に比べ1万4,277人、2.3%減となり、美乃浜学園駅開業前の令和元年度と比較すると105.7%の水準となりました。

通勤定期利用者は増加したものの、通学定期利用者は沿線の少子化の影響により、減少傾向が続いています。定期外旅客は4月から7月までは堅調に推移していましたが、8月、9月は猛暑や週末の天候不順等の影響により昨年度を下回る利用者数でした。

（営業収支及び経常損益）

営業収益については、旅客運輸収入は、152万円、1.4%減の1億0,380万2千円となり、昨年度に続き上期1億円を超えました。運輸雑収を加えた営業収益は、1億3,218万2千円で、前年度に比べ197万円、1.5%減少しました。

一方、営業費については、突発的に生じたまくら木の交換や車両エアコン修理などの修繕費や人件費などの増により、前年に比べ1,068万4千円、7.7%増の1億5,029万1千円となりました。

この結果、営業外収益・費用を加えた経常損益は、1,820万4千円の赤字となりました。

2. 輸送人員

(単位：人)

区 分	定期旅客			定期外旅客	合 計
	通勤定期	通学定期	定期計		
元年度上期 a	108,722	205,920	314,642	265,491	580,133
6年度上期 b	90,094	297,240	387,334	240,421	627,755
7年度上期 c	96,014	286,740	382,754	230,724	613,478
対前年比 c/b	106.6%	96.5%	98.8%	96.0%	97.7%
対元年比 c/a	88.3%	139.2%	121.6%	86.9%	105.7%

3. 営業収益・経常損益

(単位：千円)

区 分	定期旅客			定期外旅客	旅客運輸 収入合計	運輸雑収	営業収益 合 計
	通勤定期	通学定期	定期計				
元年度上期 a	18,205	25,380	43,585	71,804	115,389	31,351	146,740
6年度上期 b	14,702	23,706	38,408	66,915	105,323	28,830	134,153
7年度上期 c	15,909	22,868	38,777	65,024	103,802	28,380	132,182
対前年比 c/b	108.2%	96.5%	101.0%	97.2%	98.6%	98.4%	98.5%
対元年比 c/a	87.4%	90.1%	89.0%	90.6%	90.0%	90.5%	90.1%

区 分	営業費	営業損益	経常損益
元年度上期	144,102	2,639	3,007
6年度上期	139,607	▲5,454	▲4,641
7年度上期	150,291	▲18,108	▲18,204

お問い合わせ先 … ひたちなか海浜鉄道 吉田、後藤、大重
電話 029-262-2361